

運用報告書(全体版)

第 1 期

(決算日：2015年12月15日)

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型/内外/資産複合
信託期間	無期限(設定日:平成26年12月11日(木))
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	上場投資信託証券(ETF)及び投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象ファンドへの投資を通じて、世界各国の株式、債券、貸付債権(バンクローン)、ヘッジファンド、コモディティ、不動産投資信託証券(リート)等、さまざまな資産への分散投資を行うことで収益の獲得を目指します。 スマートベータ指数 [*] に連動するETFや、国内及び海外の中小型株式へ投資を行うことにより、追加的な収益の獲得を追求します。 ※スマートベータ指数とは、時価総額に応じて銘柄を組入れる従来型の株価指数ではなく、財務指標(売上高、営業キャッシュフロー、配当金など)や株価の変動率など銘柄の特定の要素に基づいて構成された指数のことをいいます。 運用期間中に亘り上記のすべての資産に投資するとは限りません。 投資対象ファンドは、定性、定量評価等により適宜見直す場合があります。したがって、当初組入れていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。 モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社からの助言により運用されます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回決算時(毎年12月15日。休業日の場合は翌営業日とします。)に分配方針に基づき分配を行います。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等と売買益等(評価益を含みます)から、収益分配方針に基づいて分配します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

SBIグローバル・ラップファンド(安定型) 愛称:My-ラップ(安定型)

追加型投信/内外/資産複合

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBIグローバル・ラップファンド(安定型)愛称:My-ラップ(安定型)」は、2015年12月15日に第1期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

SBI Asset Management

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金		
(設定日) 2014年12月11日	円 10,000	円 —	% —	百万円 1,735
1期(2015年12月15日)	9,826	0	△ 1.7	98.7 3,034

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託 証券 組入比率
		騰落率	
(設定日) 2014年12月11日	円 10,000	% —	% —
12月末	10,081	0.8	97.9
2015年1月末	9,960	△ 0.4	98.3
2月末	10,142	1.4	96.0
3月末	10,127	1.3	97.9
4月末	10,200	2.0	99.7
5月末	10,414	4.1	98.9
6月末	10,211	2.1	98.0
7月末	10,287	2.9	97.5
8月末	9,953	△ 0.5	97.9
9月末	9,658	△ 3.4	97.7
10月末	10,005	0.1	99.4
11月末	10,058	0.6	98.2
(期末) 2015年12月15日	9,826	△ 1.7	98.7

(注1) 騰落率は設定日比。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2014年12月11日から2015年12月15日まで）

○基準価額等の推移



設 定 日:10,000 円

期 末: 9,826 円(既払分配金(税込み):0 円)

騰 落 率:△ 1.7 %

(注1) 当ファンドでは、ベンチマークを採用しておりません。また、適当な参考指数もないため当ファンドのみ表記しております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

日銀の金融緩和により国内株式が上昇したほか、為替相場の円安進行により外貨建て資産の円換算額が増加したこと等が、主な上昇要因となりました。

下落要因

ユーロ安の進行により先進国債券（除く米国）、新興国からの資金流出懸念により新興国株式が下落したほか、米国の金利低下やハイイールド債券などの急落によりヘッジファンド（為替ヘッジあり）が下落したこと等が、主な下落要因となりました。

○投資環境

【株式型資産】

(日本)

期首から2015年7月にかけては、欧米市場の上昇や為替相場の円安進行などを背景に、概ね上昇基調となりました。8月以降は中国経済の先行きに対する懸念や為替の円高進行、原油安などの要因により下落したものの、通期では上昇しました。

(欧米)

期首から2015年6月にかけては、米景気回復や欧州中央銀行（ECB）の追加金融緩和を背景に、概ね堅調に推移しました。しかし、2015年6月以降は、ギリシャ情勢の不透明感の高まり、中国経済の先行きに対する懸念、原油安などが相次いだことから、世界的なリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調となり、通期では小幅に下落しました。

(新興国)

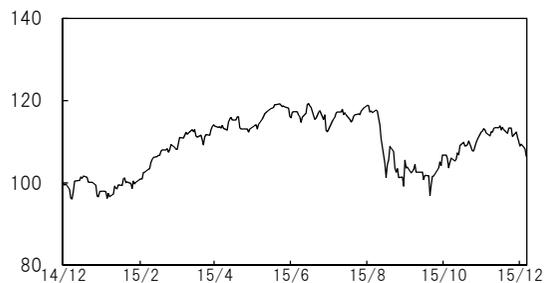
期首から2015年4月にかけては、国際商品市況の下落により、主に商品輸出や一次産品への依存度が高い国が大幅下落し、軟調に推移しました。その後、商品市況の回復に加えて、上海と香港の株式の相互取引制度の導入などにより上昇に転じましたが、5月以降は、ギリシャ情勢や中国経済への先行き不透明感から、再び下落基調となりました。期末にかけては、米利上げ観測の後退などにより戻りを試す展開となりましたが、通期では大幅下落となりました。

(リート)

期首から2015年1月下旬にかけては、米国の金利低下やゼロ金利政策の長期化観測、ECBの量的緩和観測が強まったことなどにより、概ね上昇基調で推移しました。その後は、米国の金利が再び上昇したことから、軟調な展開となりました。9月以降は、米利上げ観測の後退などにより、反発基調となりましたが、通期では下落しました。

＜組入投資信託証券の推移：株式＞

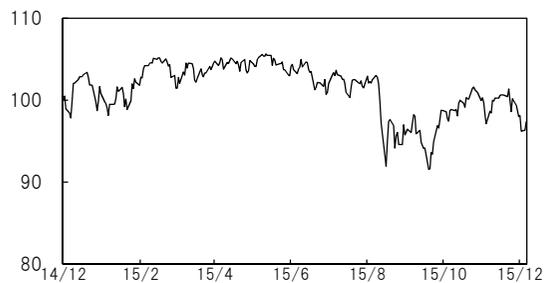
MAXIS JPX日経インデックス 400上場投信



ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・
ハイ・ディビデンドファンド



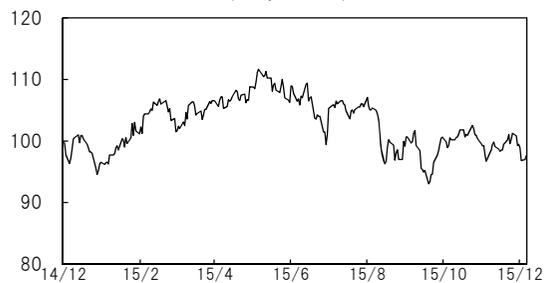
グッゲンハイム S&P 500 イコール・ウエートETF



iシェアーズ・ディベロップド・マーケット・
プロパティ・イールド・UCITS ETF



ファースト・トラスト・ヨーロッパ・
アルファデックス ファンド



出所：Thomson Reuters のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
 (注) 2014年12月10日を100として指数化しています。

【債券型資産】

(日本)

日銀の追加緩和による国債購入、原油安などを背景としたインフレ率の低下観測から、国内債券利回りは低下（価格は上昇）基調となりました。2015年2月以降は、米国の利上げ時期、ギリシャ政局の不透明感から一進一退の展開となりましたが、4月以降は欧米の金利上昇を受けて国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。期末にかけては、中国景気の減速懸念や原油安などにより国内債券利回りは低下（価格は上昇）し、通期では小幅な低下（価格は小幅上昇）となりました。

(欧米)

期首以降、米国の利上げ観測、ECBの量的緩和を受けて債券利回りは低下（価格は上昇）基調で推移しました。2015年2月以降は、米国の早期利上げ観測が再浮上したほか、ウクライナ情勢の鎮静化などを背景に、債券利回りは上昇（価格は下落）しました。4月以降は、欧州債券利回りが急反発したほか、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が金利上昇リスクについて言及したことを背景に、欧米債券利回りが上昇（価格は下落）基調となりました。7月以降はギリシャ情勢や中国景気の先行きなど外部環境の悪化から、欧米債券利回りは低下（価格は上昇）基調となり、通期では債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

(新興国)

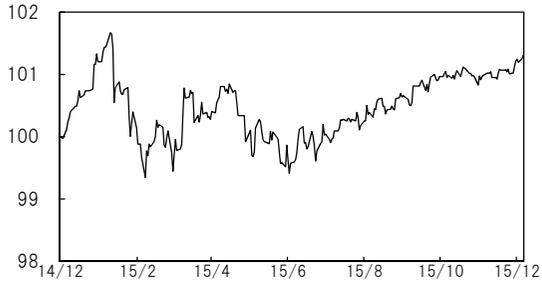
新興国の債券利回りは、国別では強弱まちまちの値動きとなりましたが、一次産品への依存度が高いロシアやブラジルなどは、商品市況の下落により経常赤字が拡大し、通貨安とともに、債券利回りが上昇（価格は下落）しました。2015年の年央にかけては、原油価格の反発とともに、債券が買い戻される局面もみられましたが、原油価格の反落や中国経済の先行き不透明感などが重しとなり、債券利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。通期では債券利回りが大幅に上昇（価格は大幅下落）しました。

(ヘッジファンド)

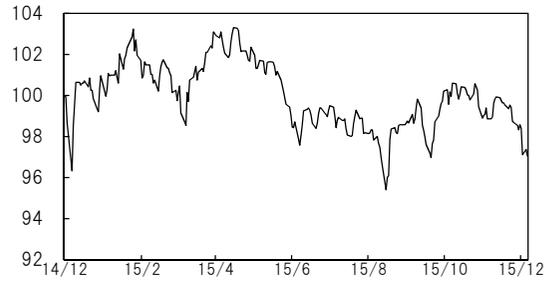
期首以降、米国の金利が予想よりも低位で推移したことや、原油安の進行を背景にハイイールド債や新興国債券などが売られたことから、2015年後半以降は軟調なパフォーマンスとなりました。通期ではマイナスの収益率となりました。

＜組入投資信託証券の推移：債券＞

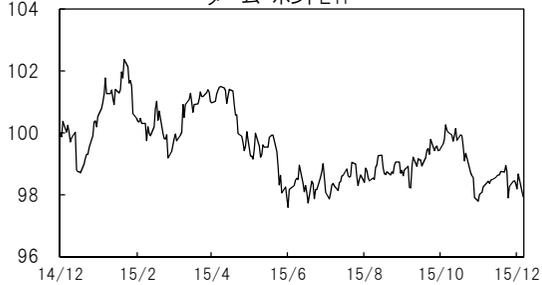
MUAM 日本債券インデックスファンド
(適格機関投資家限定)



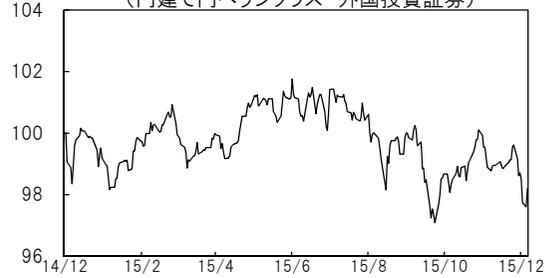
パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・
ソブリン・デット ポートフォリオ



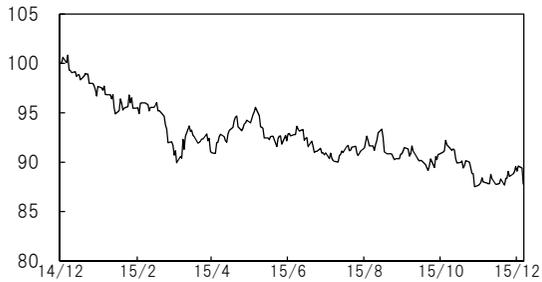
バンガード・インターメディエイト・
ターム・ボンドETF



ニューバーガー・バーマン・グローバル・ボンド・
アブソリュート・リターン・ファンド
(円建て円ヘッジクラス 外国投資証券)



パワーシェアーズ・インターナショナル・
コーポレート・ボンド ポートフォリオ



出所：Thomson.Reuters のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2014年12月10日を100として指数化しています。

【為替】

ドル円は、米国の量的緩和終了や日銀の追加金融緩和などを背景に円売り・ドル買いが進み、2014年末には120円台を突破しました。2015年以降は、原油価格の急落やスイスフランの対ユーロ上限撤廃などが円買い材料となり、ドル円は117円台まで値を戻しましたが、原油価格の下げ止まりや米長期金利の上昇とともに、再び120円台まで円売りが優勢となりました。その後、120円を挟み、膠着感の強い相場展開が続きました。5月以降は、米長期金利の上昇を受けて、再びドル買いが進行し、6月上旬には125円台まで円安が進みましたが、黒田日銀総裁の円安に対する否定的なコメントやギリシャ情勢への懸念が再燃したことにより急反落し、120円台まで円高が進みました。8月以降は、中国の人民元切り下げを発端とした世界的な株安を背景に、一時的に円高局面となりましたが、期末にかけては、米国の利上げ観測を巡り、一進一退の展開となりました。通期では若干のドル高・円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言による基本配分比率に基づき、国内及び海外のETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を行いました。

【当期末の組入投資信託証券の状況】

投資対象		投資信託証券の名称	通貨	組入比率		当期の騰落率
株式型 資産	日本大型株式	MAXIS JPK 日経インデックス400 上場投信	円	30.3%	10.6%	7.9%
	米国大型株式	グッゲンハイム S&P 500 イコール・ウエートETF	米ドル		10.3%	-1.0%
	欧州大型株式	ファースト・トラスト・ヨーロッパ・アルファデックスファンド	米ドル		5.1%	0.1%
	新興国大型株式	ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンドファンド	米ドル		1.7%	-22.1%
	グローバル REIT	iシェアーズ・ディベロプト・マーケット・プロパティ・イールド・UCITSETF	米ドル		2.6%	-2.4%
債券型 資産	日本債券	MUAM 日本債券インデックスファンド（適格機関投資家限定）	円	68.5%	14.3%	1.3%
	米国債券	バンガード・インターメディアエイト・ターム・ボンドETF	米ドル		14.9%	1.1%
	先進国（除く米国）債券	パワーシェアーズ・インターナショナル・コーポレート・ボンドポートフォリオ	米ドル		15.0%	-10.0%
	新興国債券	パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・ソブリン・デットポートフォリオ	米ドル		4.5%	2.8%
	ヘッジファンドヘッジあり	ニュートン・グローバル・ボンド・アグリエイト・リターン・ファンド（適格機関投資家限定）	円		19.8%	-1.8%

（注）組入比率は純資産総額に対する比率です。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定していません。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	2014年12月11日～ 2015年12月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

国内外のETF(上場投資信託)及び投資信託証券への投資を通じて、株式型資産(株式、リート等)への基本配分を30%、債券型資産(債券、ヘッジファンド等)への基本配分を70%とし、国際分散投資を行います。金利上昇局面に弱い債券型資産のパフォーマンスを補完するために、債券代替の資産クラスとしてヘッジファンドをポートフォリオに組入れることにより、信託財産の安定的な収益獲得を目指します。また、ヘッジファンド等の一部の資産クラスに関しては、為替ヘッジを行います。モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言や金融市場の動向等を勘案し、投資対象ファンドの入れ替えや基本配分比率の変更を定期的に行っていく予定です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年12月11日～2015年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	138	1.368	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	（ 58）	（0.575）	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	（ 77）	（0.766）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	（ 3）	（0.027）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.092	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投 資 信 託 証 券）	（ 9）	（0.092）	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（投 資 信 託 証 券）	（ 0）	（0.000）	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	7	0.074	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	（ 2）	（0.017）	保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	（ 1）	（0.010）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	（ 5）	（0.047）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	154	1.534	
期中の平均基準価額は10,091円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

○売買及び取引の状況

(2014年12月11日～2015年12月15日)

投資信託証券

銘柄		買付額		売付額		
		口数	金額	口数	金額	
国内		口	千円	口	千円	
	ニューバーガー・バーマン・グローバル・ボンド・アプリアート・リターン・ファンド (併せて円ヘッジクラス外国投資証券)	695,531	693,506	80,138	79,435	
	MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	431,934,524	511,160	69,398,499	82,416	
	MAXIS JPX 日経インデックス 400 上場投信	27,563	357,767	4,193	59,895	
外国		口	千米ドル	口	千米ドル	
	アメリカ	グッゲンハイム S&P 500 イコール・ウエート ETF	38,384	3,035	4,296	340
		iシェアーズ・ディベロプト・マーケット・プロパティ・イールド・UCITS ETF	30,508	761	2,940	71
		バンガード・インターメディアイト・ターム・ボンド ETF	50,914	4,339	6,191	522
		ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンドファンド	18,437	767	5,203	223
		パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・ソブリン・デットポートフォリオ	50,601	1,424	9,402	261
		ファースト・トラスト・ヨーロッパ・アルファデックスファンド	52,274	1,554	7,859	243
	パワーシェアーズ・インターナショナル・コーポレート・ボンドポートフォリオ	168,363	4,744	22,558	589	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年12月11日～2015年12月15日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年12月15日現在)

(1) 国内投資信託証券

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
ニューバガー・バロン・グローバル・ボンド・アグリキュル・リターン・ファンド(円建て円決済外貨証券)	615,392	600,647	19.8
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	362,536,025	432,976	14.3
MAXIS JPX 日経インデックス 400 上場投信	23,370	321,804	10.6
合 計	363,174,787	1,355,429	44.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

ファンド名	口 数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
グッゲンハイム S&P 500 イコール・ウェイト ETF	34,088	2,581	312,772	10.3
iシェアーズ・ディベロプド・マーケット・プロパティ・イールド・UCITS ETF	27,568	639	77,457	2.6
バンガード・インターメディアエイト・ターム・ボンド ETF	44,723	3,741	453,269	14.9
ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンドファンド	13,234	415	50,299	1.7
パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・ツプリン・デットポートフォリオ	41,199	1,126	136,522	4.5
ファースト・トラスト・ヨーロッパ・アルファデックスファンド	44,415	1,288	156,058	5.1
パワーシェアーズ・インターナショナル・コーポレート・ボンドポートフォリオ	145,805	3,750	454,362	15.0
合 計	351,032	13,541	1,640,742	54.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,996,171	% 97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	68,958	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	3,065,129	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(1,643,752千円)の投資信託財産総額(3,065,129千円)に対する比率は53.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=121.16円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2015年12月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,065,129,915	
コール・ローン等	68,957,961	
投資信託受益証券(評価額)	2,996,171,936	
未収利息	18	
(B) 負債	30,382,421	
未払解約金	7,587,897	
未払信託報酬	22,221,314	
その他未払費用	573,210	
(C) 純資産総額(A-B)	3,034,747,494	
元本	3,088,501,139	
次期繰越損益金	△ 53,753,645	
(D) 受益権総口数	3,088,501,139口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,826円	

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,735,547,531円
期中追加設定元本額	2,904,899,073円
期中一部解約元本額	1,551,945,465円

○損益の状況(2014年12月11日～2015年12月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	41,751,248	
受取配当金	39,752,835	
受取利息	△ 2,000	
その他収益金	2,000,413	
(B) 有価証券売買損益	△ 61,767,442	
売買益	61,936,038	
売買損	△ 123,703,480	
(C) 信託報酬等	△ 45,052,508	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 65,068,702	
(E) 追加信託差損益金	11,315,057	
(配当等相当額)	(6,270,424)	
(売買損益相当額)	(5,044,633)	
(F) 計(D+E)	△ 53,753,645	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	△ 53,753,645	
追加信託差損益金	11,315,057	
(配当等相当額)	(6,270,424)	
(売買損益相当額)	(5,044,633)	
繰越損益金	△ 65,068,702	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,270,424円)より分配対象収益は6,270,424円(10,000口当たり20円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

該当事項はありません。

<ご参考> 組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MAXIS JPX 日経インデックス 400 上場投信	日本大型株式	JPX 日経インデックス 400	0.08424%	三菱UFJ 国際投信株式会社

組入上位 10 銘柄	比率
JT	1.64%
KDDI	1.57%
日本電信電話	1.55%
ホンダ	1.54%
ソフトバンクグループ	1.48%
みずほフィナンシャルグループ	1.44%
武田薬品工業	1.43%
三井住友フィナンシャルグループ	1.39%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.37%
トヨタ自動車	1.31%

組入上位業種	比率
電気機器	12.95%
輸送用機器	9.40%
銀行業	7.57%
情報・通信業	7.46%
医薬品	6.66%
化学	6.61%
陸運業	5.39%
機械	4.92%
小売業	4.84%
食料品	4.52%

出所：三菱UFJ国際投信株式会社の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年11月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
グッゲンハイムS&P 500イコール・ウエートETF	米国大型株式	S&P 500 イコール・ウエート・インデックス	0.40%	Guggenheim Funds Distributors, LLC.

組入上位 10 銘柄	比率
SanDisk Corp.	0.3%
KLA-Tencor Corp.	0.3%
El du Pont de Nemours & Co.	0.3%
Molson Coors Brewing Co. - Class B	0.2%
NVIDIA Corp.	0.2%
TripAdvisor, Inc.	0.2%
Juniper Networks, Inc.	0.2%
Marathon Oil Corp.	0.2%
Microsoft Corp.	0.2%
Southwest Airlines Co.	0.2%

組入上位業種	比率
生活必需品	19.5%
金融	17.6%
消費財	14.4%
資本財・サービス	12.7%
テクノロジー	9.8%
エネルギー	8.1%
電気通信サービス	7.4%
その他	10.3%

出所：Guggenheim Funds Distributors, LLC.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年10月31日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ファースト・トラスト・ヨーロッパ・アルファデックスファンド	欧州大型株式	ディファインド・ヨーロッパ・インデックス	0.80%	First Trust Portfolios L.P.

組入上位 10 銘柄	比率	組入上位業種	比率
Altice S.A.	1.1%	金融	21.5%
Gamesa Corp. Tecnologica S.A.	1.0%	一般消費財・サービス	20.5%
Dialog Semiconductor PLC	1.0%	資本財・サービス	18.0%
Capital & Counties Properties PLC	1.0%	素材	10.7%
3i Group PLC	0.9%	ヘルスケア	6.5%
Seadrill Ltd.	0.9%	公共事業	6.5%
Shaftesbury PLC	0.9%	エネルギー	6.1%
Vodafone Group PLC	0.9%	情報技術	4.0%
KUKA AG	0.9%	電気通信サービス	3.4%
RHOEN-KLINIKUM AG	0.9%	生活必需品	2.8%

出所：First Trust Portfolios L.P.の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 6 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・ハイ・ディビデンドファンド	新興国大型株式	ウィズダムツリー・エマージング・マーケット・エクイティ・インカム・インデックス	0.63%	WisdomTree Investments, Inc

組入上位 10 銘柄	比率	組入上位業種	比率
China Construction Bank Corp	4.79%	金融	28.77%
Gazprom OAO	4.56%	エネルギー	18.72%
Rosneft Oil Co	4.03%	電気通信サービス	16.08%
Industrial & Commercial Bank o	3.70%	素材	10.11%
Lukoil OAO	3.23%	公共事業	6.91%
Bank of China Ltd	2.81%	情報技術	6.23%
MMC Norilsk Nickel PJSC-ADR	2.80%	資本財・サービス	5.12%
MTN Group Ltd	1.99%	一般消費財・サービス	4.42%
Adbanced Info Service PCL(F)	1.72%	生活必需品	3.54%
Vodacom Group Pty Ltd	1.69%	ヘルスケア	0.10%

出所：WisdomTree Investments, Inc の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 9 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・ディベロップド・マーケット・プロパティ・イールド・UCITS ETF	グローバルREIT	FTSE EPRA/NAREIT ディベロップド・ディベデント・プラス・インデックス	0.59%	BlackRock, Inc.

組入上位 10 銘柄	比率
SIMON PROPERTY GROUP REIT INC	5.01%
PUBLIC STORAGE REIT	2.69%
EQUITY RESIDENTIAL REIT	2.37%
UNIBAIL-RODAMCO SE REIT	2.23%
WELLTOWER INC	2.08%
AVALONBAY COMMUNITIES REIT INC	2.01%
SUN HUNG KAI PROPERTIES LTD	1.90%
CHEUNG KONG PROPERTY HOLDINGS LTD	1.80%
PROLOGIS REIT INC	1.79%
VENTAS REIT INC	1.63%

組入上位 10 カ国	比率
米国	56.84%
香港	8.85%
オーストラリア	6.02%
日本	5.77%
イギリス	5.25%
フランス	3.89%
ドイツ	3.24%
カナダ	3.02%
シンガポール	2.03%
スウェーデン	1.05%

出所：BlackRock, Inc. の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 9 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	日本債券	NOMURA-BPI 総合インデックス	0.1512%	三菱UFJ 国際投信株式会社

種類別組入比率	比率
国債	80.3%
地方債	5.7%
政府保証債	7.3%
金融債	0.9%
普通社債	5.2%

組入上位 10 銘柄	比率
第 117 回利付国債 (5 年)	1.2%
第 116 回利付国債 (5 年)	1.1%
第 333 回利付国債 (10 年)	1.1%
第 122 回利付国債 (5 年)	1.0%
第 285 回利付国債 (10 年)	1.0%
第 329 回利付国債 (10 年)	1.0%
第 332 回利付国債 (10 年)	1.0%
第 334 回利付国債 (10 年)	0.9%
第 106 回利付国債 (5 年)	0.9%
第 305 回利付国債 (10 年)	0.9%

出所：三菱UFJ 国際投信株式会社の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 5 月 12 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・インターメディアエイト・タム・ボンドETF	米国債券	バリュイズ類50年ガバメント/クレジット/フロントアズ/ボンドデックス	0.10%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位 10 銘柄	比率
United States Treasury Note/Bond 2.500%	2.8%
United States Treasury Note/Bond 2.000%	2.2%
United States Treasury Note/Bond 2.125%	2.1%
United States Treasury Note/Bond 2.500%	2.0%
United States Treasury Note/Bond 1.750%	1.9%
United States Treasury Note/Bond 2.250%	1.9%
United States Treasury Note/Bond 2.375%	1.8%
United States Treasury Note/Bond 2.750%	1.8%
United States Treasury Note/Bond 2.750%	1.5%
United States Treasury Note/Bond 2.000%	1.5%

組入債券種別	比率
国債・政府機関債	51.8%
事業債	25.3%
金融債	12.7%
外貨建債券	7.8%
公共事業債	2.1%
その他	0.3%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 6 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
パワーシェアーズ・インターナショナル・コーポレート・ボンドポートフォリオ	先種目(除く)債	S&P インターナショナル・コーポレート・ボンド・インデックス	0.50%	Invesco PowerShares Capital Management LLC

組入上位 10 銘柄	比率
Lloyds Bank PLC, EMTN, 7.625%, 04/22/25	1.3%
Barclays Bank PLC, EMTN, 10.000%, 05/21/21	1.0%
Enel Finance International NV, EMTN, 5.625%, 08/14/24	1.0%
Engie SA, EMTN, 2.375%, 05/19/26	0.9%
Electricite de France SA, EMTN, 5.500%, 10/17/41	0.9%
HSBC Holdings PLC, EMTN, 5.750%, 12/20/27	0.9%
Electricite de France SA, EMTN, 6.125%, 06/02/34	0.8%
Heathrow Funding Ltd., EMTN, 6.750%, 12/03/26	0.8%
E.ON International Finance BV, EMTN, 5.875%, 10/30/37	0.8%
Enel SpA, EMTN, 5.750%, 06/22/37	0.8%

出所：Invesco PowerShares Capital Management LLCの資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 10 月 31 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・ソブリン・デットポートフォリオ	新興国債券	DB エマージング・マーケット USD リキッド・バランسد・インデックス	0.50%	Invesco PowerShares Capital Management LLC

組入上位 10 銘柄	比率
Ukraine Government International Bond, 7.950%, 02/23/21	2.0%
Ukraine Government International Bond, 7.500%, 04/17/23	2.0%
Ukraine Government International Bond, 7.750%, 09/23/20	2.0%
Republic of Latvia, 2.750%, 01/12/20	1.8%
Republic of Latvia, 5.250%, 06/16/21	1.8%
Romanian Government International Bond, MTN, 6.750%, 02/07/22	1.8%
Romanian Government International Bond, MTN, 4.375%, 08/22/23	1.8%
Morocco Government International Bond, 4.250%, 12/11/22	1.7%
Morocco Government International Bond, 5.500%, 12/11/42	1.6%
Russian Foreign Bond—Eurobond, 5.625%, 04/04/42	1.4%

出所：Invesco PowerShares Capital Management LLC の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 10 月 31 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ニューバーガー・バーマン・グローバル・ボンド・アプリュート・リターン・ファンド (円建て円ヘッジクラス外国投資証券)	ヘッジファンド (ヘッジあり)	ベンチマークはありません	0.500%	Neuberger Berman Investment Funds PLC

組入上位 10 銘柄	比率
NEW ZEALAND 4.5% 04/15/27/NZD/	9.6%
US TIPS 0.375% 07/15/23	2.6%
US TIPS 2% 01/15/26	1.8%
MEX BONOS 7.75% 11/13/42/MXN/	1.6%
MEX BONOS DES 8% 12/07/23/MXN/	1.5%
PGH CAPITA 5.75% 07/07/21/GBP/	1.4%
SANTANDER UK G V/R /PERP//GBP/	1.4%
US T BILL ZCP 07/21/16	1.3%
VOLKSWAGEN INT V/R /PERP//EUR/	1.2%
ISHARES USD HY CORP BND	1.1%

出所：Neuberger Berman Investment Funds PLC の資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2015 年 12 月 31 日時点の比率です。